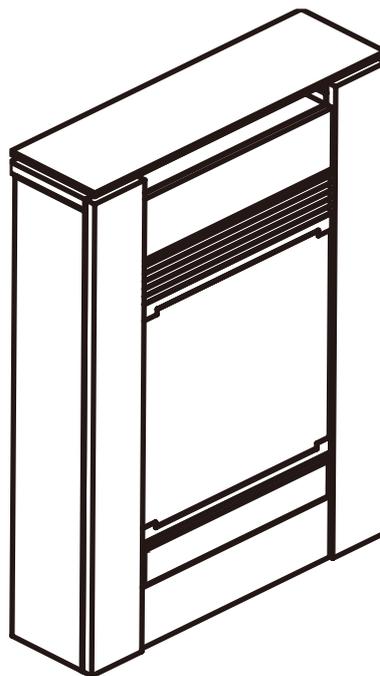


取扱説明書

GSL12NJ

GSL12BJ



ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

もくじ

・ 安全上のご注意	1
・ 各部名称	4
・ 設置の方法	4
・ 運転のしかた	6
・ お手入れのしかた	7
・ 保管のしかた	7
・ 故障診断	7
・ アフターサービス、仕様	8

【安全上のご注意】

■この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項(図記号等による表示)を必ずお守りください。

■注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」「注意」に区分しています。

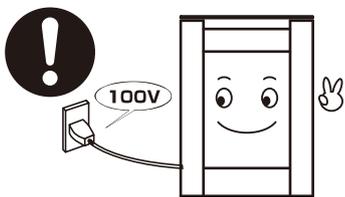
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

 の記号は注意(警告を含む)を促す内容を示しています。(右の図は高温注意)  高温注意	 の記号はしてはいけない内容を示しています。(右の図は分解禁止)  分解禁止	 の記号はしなければならない(強制)内容を示しています。(右の図は電源プラグからコンセントを抜く)  電源プラグをコンセントから抜く
---	---	--

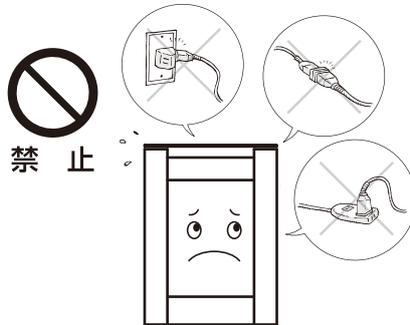
警告

■電源は、100Vの壁のコンセントに電源プラグを直接に差し込んでください。



200Vに接続すると、発火の恐れがあります。
また、タイマーや他機器と連動するような配線を行うと、意図しない暖房運転が開始され大変危険です。

■延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。



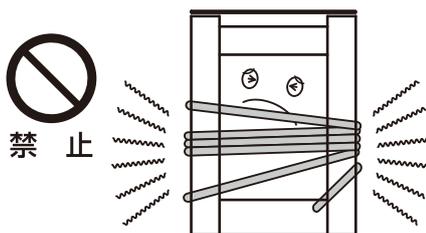
コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

■電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。



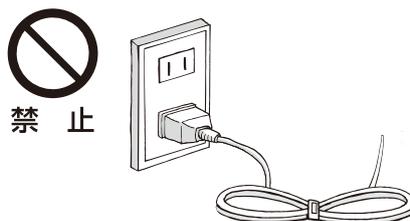
過熱により発火する恐れがあります。

■電源コードを本体に掛けたり巻きつけたりしないでください。



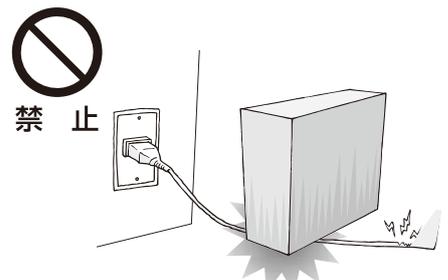
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

■コンセントが近くにあるコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。



コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

■コードに重いものを載せたり、傷付けたりしないでください。

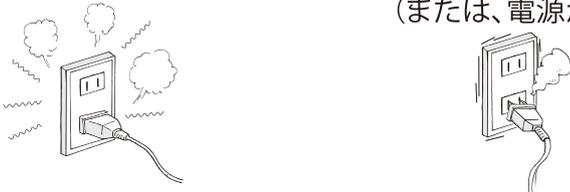


発火の原因となります。

- 電源コードが傷付くなどした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- また、次のような場合にも、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。



コードやプラグが熱い。コードを動かすと電源が切れる。
(または、電源が入る)



誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。また、修理をせずに使用を続けると発火の恐れがあります。

- シーズンオフや長期間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。



電源プラグをコンセントから抜く

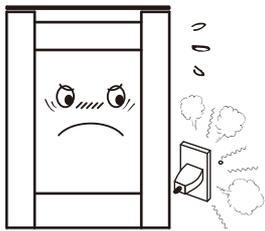


トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。トラッキングとはプラグの二つの刃の間が汚れ、湿気などによりショートすることです。

- コンセントの位置に注意し、電源ケーブルは無理に曲げたり本体と壁の間に挟めるなど、ケーブルに力が加わらないようにしてください。

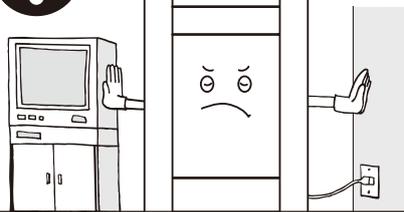


禁止



ケーブル断線などの故障の原因になります。

- 本体の上、前方、左右に十分な空間を設けて設置してください。特に、カーテン・コンセント・壁・家具・家電製品等にはご注意ください

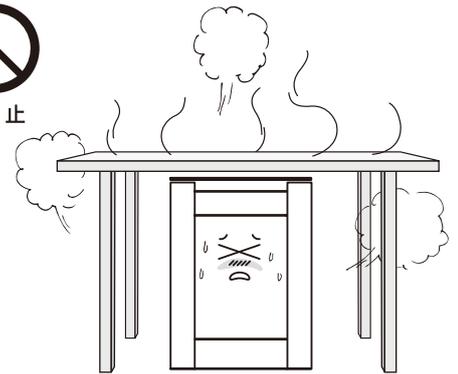


火災・変形・変色・故障等の原因となります。

- 押し入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



禁止

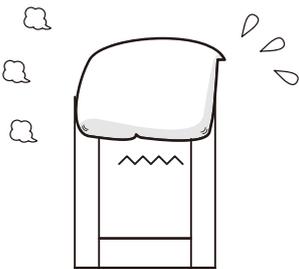


故障や熱変形などの原因になります。

- 吹出口や吸込口を覆ったり物を置いて通風を妨げたりしないでください。また、布団や洗濯物を掛けないでください。



禁止



破損や過熱により火災につながる恐れがあります。

- 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置ください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。



禁止

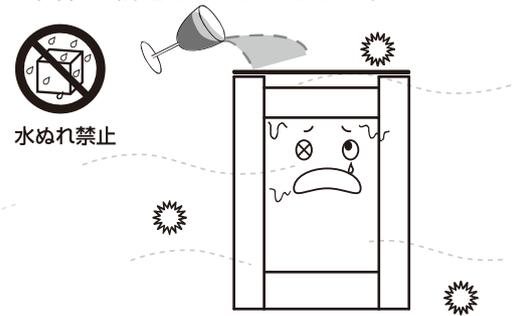


高温のヒーター吹出口に触るとやけどの恐れがあります。

- 水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。また、花瓶など水の入ったものを本体に載せないでください。

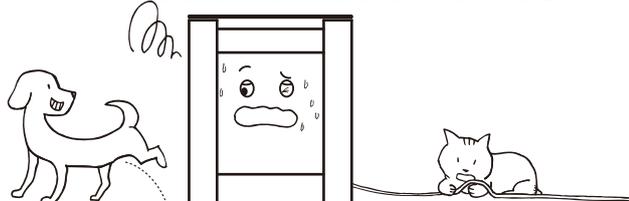


水ぬれ禁止



水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。



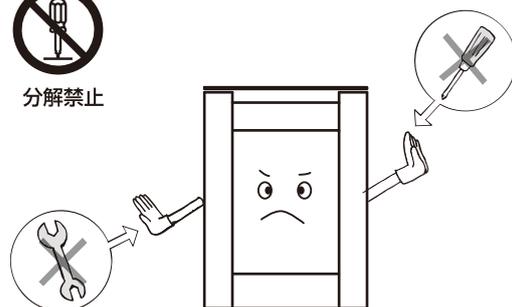
歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因になります。

■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。



熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。
幼児や泥酔された方には特に注意してください。

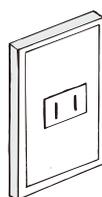
■修理技術者以外の方は、分解・修理を行わないでください。



誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

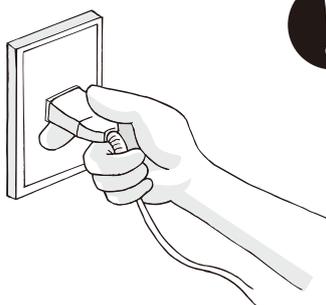
■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



ぬれ手禁止

感電の恐れがあります。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。



コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。



禁止



感電や故障の原因となります。

■ヒーターの温風吹出口は高温になります。使用中には手で触れないでください。

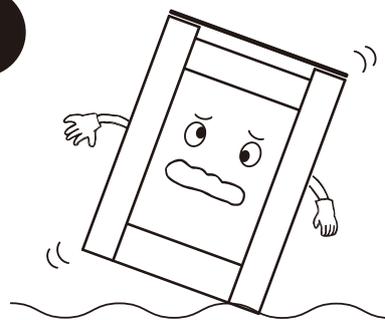


高温注意



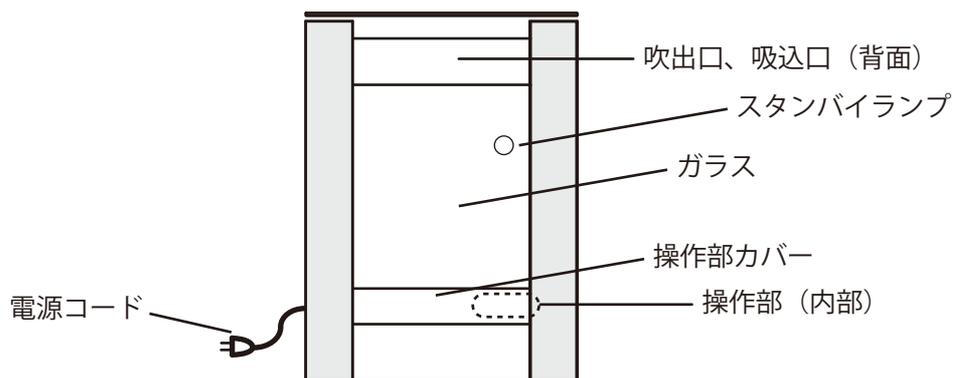
幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は、水平で平らな場所に正しく置いてください。



倒れるとケガをする恐れがあります。
横倒しでの使用は行わないでください。

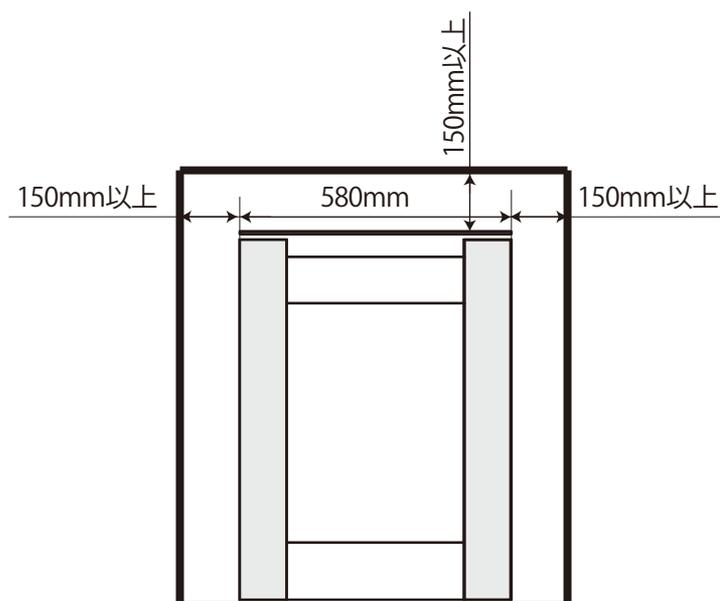
各部名称



設置の方法

設置の方法

- 平らで安定した場所に設置してください。
- 上方及び左右には十分なスペースを設けてください。
- 棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。
- 前面には大きなスペースを設けてください。



※前面のスペースは500mm以上

設置の方法

⚠ 注意

- ⚠ **取り付け後は必ず安全性を確認する。**
また、定期的に転倒の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。
- ⚠ **取り付け後は本体固定ブラケットに取り付けられたネジは絶対にゆるめない。**
本体が転倒し、破損したり、けがの原因となります。
- ⊘ **設置する際は、以下のことに注意する。**
薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁には取り付けないでください。正しい取り付け方法をしないと、本体が転倒して、けがの原因となることがあります。
- ⊘ **必ず付属の取り付けネジを使用して固定する。**
本体が転倒すると、けがの原因となることがあります。
- ⊘ **本体にぶら下がったりしない。**
転倒したり、破損したり、けがの原因となることがあります。
- ⊘ **本製品の取り付け・固定以外の目的では使用しない。**
本ブラケットは本ヒーター専用のブラケットです。他の目的での使用は絶対にしないでください。

■同梱部品及び使用工具

同梱部品・壁固定ブラケット・本体固定ブラケット
・壁固定用取付ビス (M3×35mm) ×2・本体固定取付ビス (M4×10mm) ×2
使用工具・電動ドライバー・プラスドライバー・マーキング用ペン

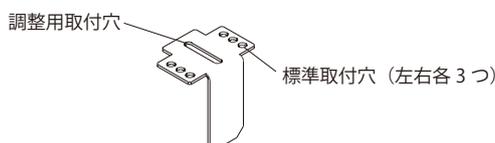
■設置方法

・壁固定ブラケットの設置 ※壁固定取付ビスは間柱に固定するようお願いします。

- ① 間柱がある位置で、床面から壁固定ブラケット上面までの高さが720mmとなるようにブラケットを壁に手で仮押さえする。
- ② 壁固定ブラケットの取付穴2ヶ所にマーキング用ペンでマークする。
マークした壁2ヶ所にΦ2.5の下穴を開ける。
- ③ 穴を開けた箇所に壁固定用取付ビス (M3×35mm) で壁固定ブラケットを固定する。

・本体固定ブラケットの設置

- ④ 本体固定ブラケットには左右各3つの標準取付穴と調整用取付穴があります。



製品本体の裏面の板部下にある下穴に本体固定ブラケットの取付穴を合わせて配置し、本体固定取付ビス (M4×10mm) で固定する。

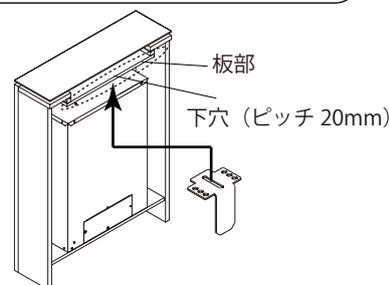
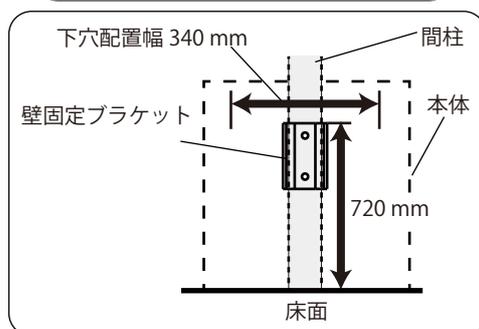
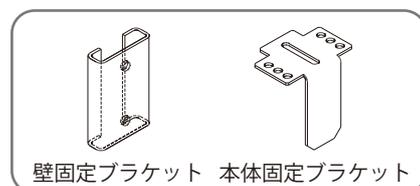
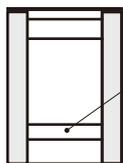
固定箇所は、

- 標準取付穴のみを使用する場合
：標準取付穴左右1ヶ所ずつ合計2ヶ所
- 調整用取付穴を使用する場合
：調整用取付穴1ヶ所+標準取付穴の少なくとも1ヶ所の合計2ヶ所

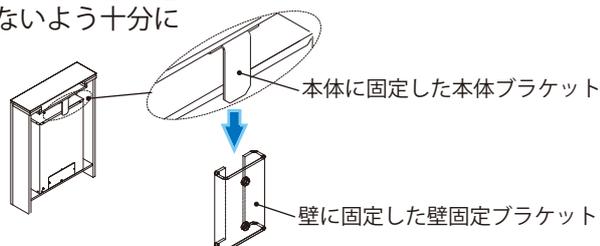
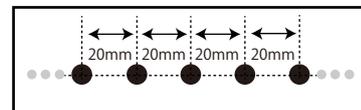
・本体の設置

- ⑤ 本体固定ブラケットが固定された本体を持ち上げ、壁固定ブラケットの中心に差し込み、固定する。破損、けがを防ぐためゆっくり差し込み、手などが挟まれないよう十分に注意してください。

- ⑥ 同梱されているロゴバッチをお好みに操作部カバー中央辺りに貼り付けてご使用ください。



■下穴ピッチ



<参考> 本体設置動画



https://www.youtube.com/channel/UCGijct_rwRS9fKSdjpdhU1A



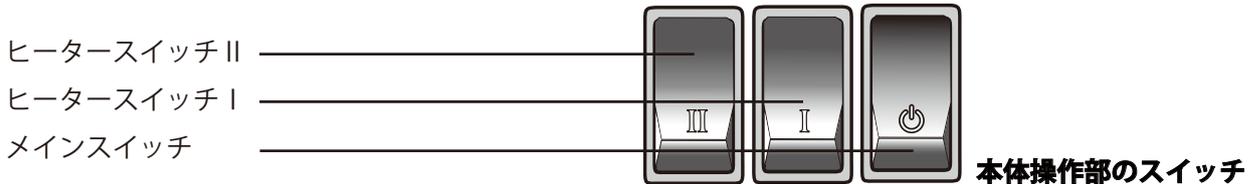
運転のしかた

運転前の準備

- ① 電源コードを100Vコンセントに挿す。
スタンバイ状態となりスタンバイランプ（赤色）が点灯します。※擬似炎が作動時、スタンバイランプは消灯します。

運転開始（製品本体操作の場合）

- ① 操作部カバーを開けて、製品本体前面右下の「メインスイッチ」を押します。擬似炎が作動します。
※擬似炎から小さな音が発生しますが異常ではありません。



暖房運転

- ① 擬似炎を点灯させてから「ヒータースイッチI」を入れます。ファンが作動し、ヒーター「弱」で暖房を開始します。
- ② さらに「ヒータースイッチII」を入れるとヒーター「強」になります。
※「ヒータースイッチI」を入れずに「ヒータースイッチII」だけ入れても、暖房運転はできません。

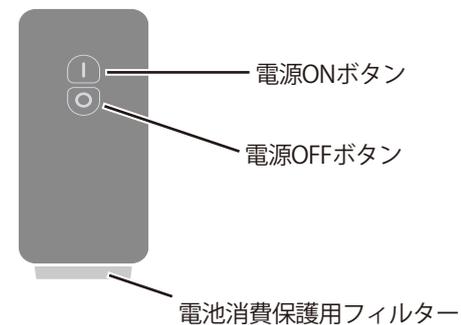
運転停止

- ① 運転中に「メインスイッチ」を切ると、全ての運転が停止します。
- ② 次に「メインスイッチ」を入れた時には、前の運転状態が継続されます。

運転開始（リモコン操作の場合）

- ① リモコン本体下部の電池消費保護用のフィルターを下に抜きます。
- ② リモコン本体の「電源ONボタン」を押します。擬似炎が作動します。
製品本体のヒータースイッチIあるいはヒータースイッチI+IIを入れた状態で「電源ONボタン」を押した場合は、擬似炎+スイッチを入れたヒーターが作動します。
※「ヒータースイッチI」を入れずに「ヒータースイッチII」だけ入れても、暖房運転はできません。

リモコン本体



運転停止

- ① 運転中に「電源OFFボタン」を押すと、全ての運転が停止します。
- ② 次に「電源ONボタン」を押した場合には、前の運転状態が継続されます。

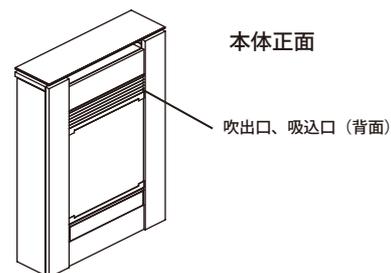
長期間ご使用にならない時

- ① シーズンオフや旅行等で長期間ご使用にならない場合には、電源プラグを抜いてください。トラッキングによる発火、意図せぬ通電、落雷による故障を防ぎます。
- ② 保管される場合には、乾燥した場所でホコリが入らないように保管してください。

お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

- ① 柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザー・シンナー等は表面を傷つけますので使用しないでください。
- ② 操作部や内部には絶対に水がつかないように注意してください。電源コードにキズや熱くなる部分がないかを確認し、異常があれば交換を依頼してください。特に、電源プラグの付け根および本体からの出口部は、しっかりと確認してください。
- ③ ヒーターをご使用される期間については2週間に1度程度、吸込口・吹出口のホコリを掃除機で吸い取って下さい。



保管のしかた

- ① ホコリが入らないように、ポリ袋等のカバーをお使いください。
- ② ホコリの少ない乾燥した場所で保管してください。

故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグの外れ	正しく差しこむ。
	ブレーカーの落ち	原因を調べてから復旧させる。
擬似炎が暗い、小さい、点灯しない	基板の故障	販売店もしくは弊社へご連絡ください。
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	吸込口がじゅうたん等で塞がれている。	通風をよくする。
	吹出口に物が置かれている。	物を移動させる。
	吸込口・吹出口に多量の綿埃等が付着している。	掃除する。
ヒーターを入れないのに本体が暖かい。	擬似炎用の電球の発熱で、電球付近を中心に温度が上がりますが、異常ではありません。	—
異音がする。	擬似炎メカのギアモーター音がしますが異常ではありません。 送風機の音がしますが異常ではありません。	通常より大きな音・異質な音がする場合には、点検を依頼する。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。電源コードを動かすと電源が切れる。	プラグの異常	電源コードの交換
	コードの半断線	電源コードの交換
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されている。	接続機器を減らす。

上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店または弊社へ連絡ください。
電源コードが破損した場合の交換は、安全のために弊社「お客様相談窓口」もしくは販売店へお問合せください。
不適切な処理は、発火の原因となります。

アフターサービス

1. 使用中に異常が生じた場合には、直ちにスイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
2. 保証期間内の修理については、保証書に基き、無料でおこないます。
3. 保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
5. 販売店または弊社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、品番
 - ②症状
 - ③お買上年月日
 - ④お客様名、ご住所、電話番号

お客様相談窓口

フリーダイヤル



TEL 0120-583-570 FAX 011-783-7747

株式会社ディンプルクス・ジャパン [受付時間：平日9：00～17：00]

ホームページ <http://dimplex.jp/>

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

(株)ディンプルクス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

- ①お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供しません。
- ②お客様の個人情報を、適切に管理します。
- ③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

製品名	電気暖炉 GISELLA 木目	電気暖炉 GISELLA 黒
型番	GSL12NJ	GSL12BJ
暖房目安	3畳(木造住宅)～8畳(コンクリート住宅)※	
電源	100V 50/60Hz	
消費電力	1200W(ヒーター1191W)	
外形寸法	幅580mm×高796mm×奥行170mm	
製品質量	19kg	
送風機	クロスフローファン	
安全装置	過昇温度防止装置	

※暖房目安は、(社)日本電機工業会自主基準により算出しております。